

● 病院の特色

1. 急性期後のリハビリテーションを中心に、地域の在宅医療を支援する機能を持った病院である。
2. 地域密着型の予防医学的な側面にも力を入れ、地域住民や学校、医師会との共同事業を展開している。

● 診療実績

1. 入院： 延べ入院患者総数(人/年)： 内科系 4399, 外科系 3422 ; 計 7821
一日平均患者数 : 21.4

		(人/年)
	疾患	患者数
1	神経系	14
2	耳鼻咽喉科系	0
3	呼吸器系	28
4	循環器系	3
5	消化器系	25
6	筋骨格系	81
7	皮膚皮下組織 腎尿路系、生殖器系	8
8	内分泌・栄養・代謝系	13
9	腎泌尿器系	7
10	婦人科系	3
11	血液・免疫その他	7
12	外傷・熱傷・中毒系	5
13	その他	28

2. 外来： 延べ外来患者総数(人/年)：
内科 9522, 外科 2423, リハビリ科 1032, 眼科 838, 皮膚科 489; 計 14334
一日平均患者数 : 59.0

● 各部門の実績

1. 臨床検査科

部門の構成人員： 1名

報告者名：中山 弘美

<診療科の特色>

1名の検査技師が常駐し検体検査、生理検査業務を行っている。

院内感染対策委員会の中心メンバー、ホームページ・広報委員会のメンバーとして活動を行っている。

<主たる業務の状況>

検体検査

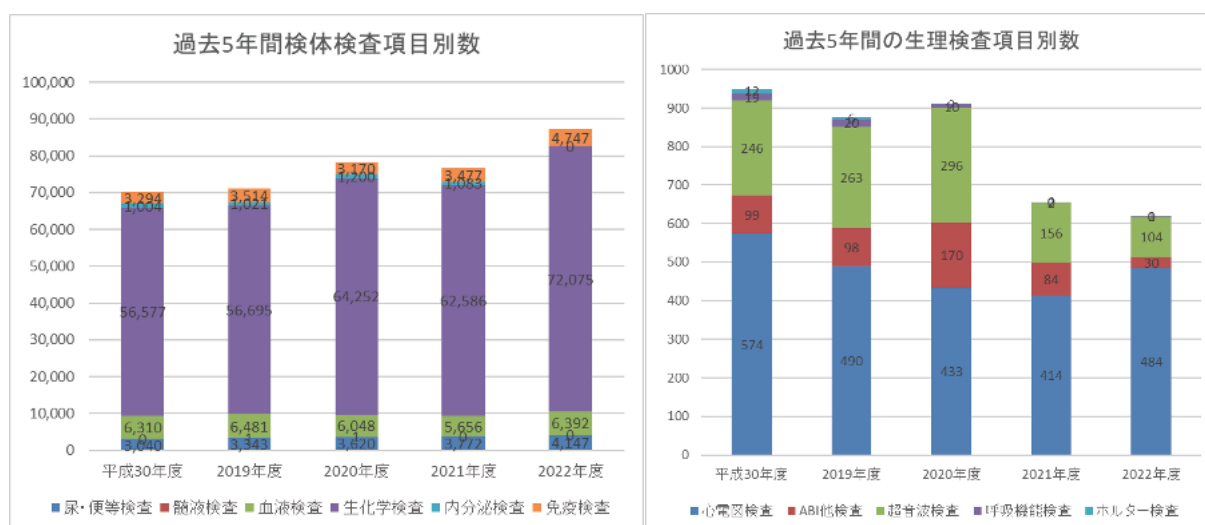
2022年度検体検査件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿・便等検査	302	263	333	348	393	385	394	388	362	315	305	359	4,147
髄液検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液検査	451	407	494	497	629	591	599	559	538	559	494	574	6,392
生化学検査	5,307	4,464	5,749	5,503	6,633	6,461	6,623	6,447	6,442	6,241	5,774	6,431	72,075
内分泌検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
免疫検査	281	279	355	394	656	412	370	401	452	469	342	336	4,747
合計	6,341	5,413	6,931	6,742	8,311	7,849	7,986	7,795	7,794	7,584	6,915	7,700	87,361

生理検査

2022年度生理検査件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図検査	30	23	53	40	47	49	49	47	41	37	34	34	484
ABI検査	7	3	1	2	1	6	3	2	0	1	1	3	30
SAS	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	2	7
超音波検査	10	8	5	11	10	5	11	13	10	6	8	7	104
呼吸機能検査	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ホルター検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	48	34	60	53	59	62	63	62	52	44	43	46	626

- ・平成30年12月に医療法等の一部が改正され、医療機関が自ら行う検体検査の精度の確保に関する基準として必要になった標準作業書の作成、改訂を行った。
- ・外部精度管理への参加：日臨技サーベイ・岡臨技サーベイ・各装置のメーカーが行う精度管理に参加。
- ・院内感染対策委員会としての活動：感染対策マニュアル改正、SARS-Co-2 感染対策マニュアル作成。
- ・感染対策室だよりの発行。

<過去5年間の件数比較>



2. 薬剤科

部門の構成人員：1名

報告者名：大山 裕紀子

採用医薬品(令和5年3月末)

	内服薬	外用薬	注射薬	合計
採用医薬品数	158	74	109	341
後発採用医薬品数	83	28	39	150
後発医薬品比率(品目割合)	79.05%	71.79%	88.64%	79.79%
後発のある先発品	22	11	5	38

後発品比率

品目割合	79.79%
金額割合	28.10%
数量割合	84.80%

$$\text{後発品比率(\%)} = \frac{\text{後発品採用品目数}}{\text{後発品のある先発品目数} + \text{後発品採用品目数}} \times 100$$

<月次業務報告>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4平均	R3平均
外来	処方箋枚数(院外)(枚)	742	683	770	730	949	908	831	893	881	886	886	913	839	734
	(院内)(枚)	19	19	20	24	46	14	9	16	20	31	11	3	19	15
	注射箋枚数(枚)	37	47	74	70	92	72	67	544	189	68	53	68	115	90
入院	処方箋枚数(枚)	164	184	236	241	202	270	208	206	215	192	193	212	210	218
	調剤数(剤)	3985	3769	5742	7069	5920	6557	5710	5960	6823	4057	5210	6142	5579	5320
	注射箋枚数(枚)	194	98	71	125	225	223	180	280	121	198	104	179	167	138
	注射処方件数(件)	421	185	118	224	437	470	390	570	222	434	220	378	339	274
持参薬確認数(件)	17	16	24	16	23	17	18	16	20	18	18	16	18	19	
退院時薬剤情報管理指導(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬物血中濃度(請求件数)(件)	7	2	1	4	6	2	1	4	2	2	3	4	3	4	
薬物血中濃度(解析件数)(件)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
プレアポイド報告(件)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
医薬品安全性情報報告(件)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

3. 放射線科

部門の構成人員：1名

報告者名：小倉 裕樹

<診療科の特色>

診療放射線技師1名の体制。業務は一般撮影・透視撮影・CT撮影・骨塩定量測定などの放射線検査、岡山市健康診査の肺がん検診を実施しています。また岡山県肺がん精密検診機関でもあり肺がん精密検診も行っています。御津・建部地区の開業医院様からの画像紹介もあり、撮影画像は岡山医療センターの放射線科医が遠隔画像診断を行っています。これからも、地域の皆様のかかりつけ病院として、また地域医療の中心として皆様のお役に立てる病院をめざします。

<医療機器>

一般撮影	CR装置(REGIUS)
骨塩定量	骨密度測定装置(Dischroma Scan)
透視撮影	デジタルX線TVシステム(Raffine)
CT装置	MSCT(Activion16)

CT装置

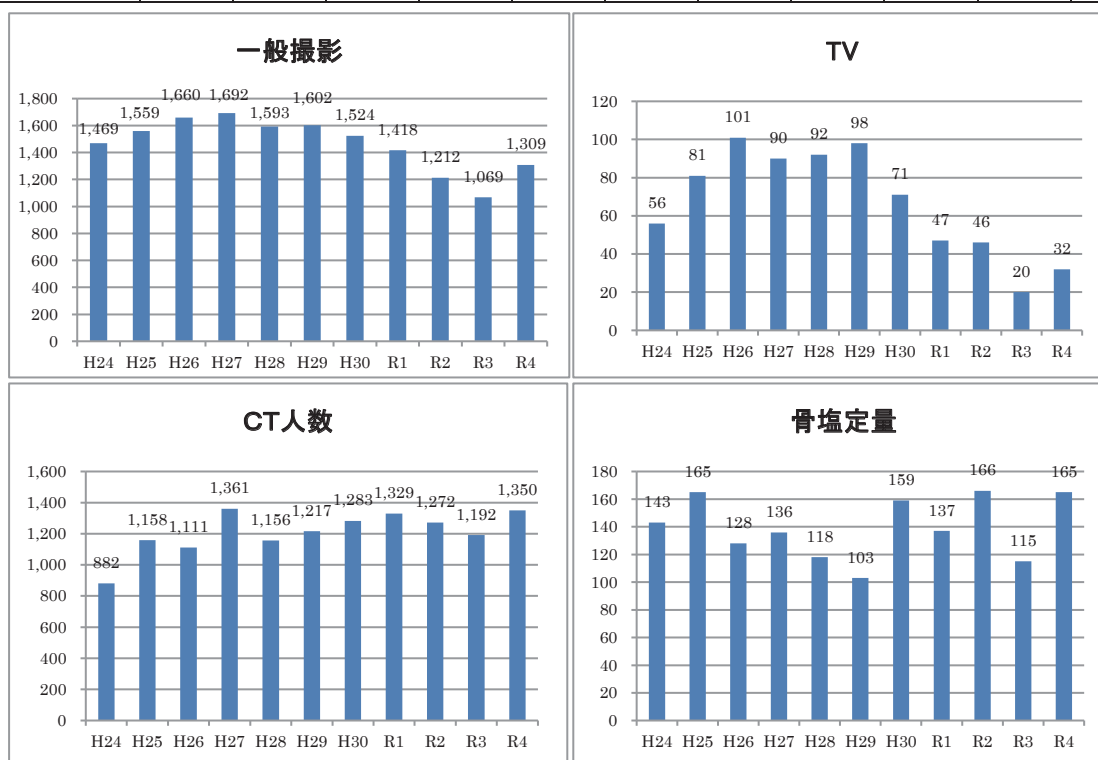


TOSHIBA Activion 16

<診療実績>

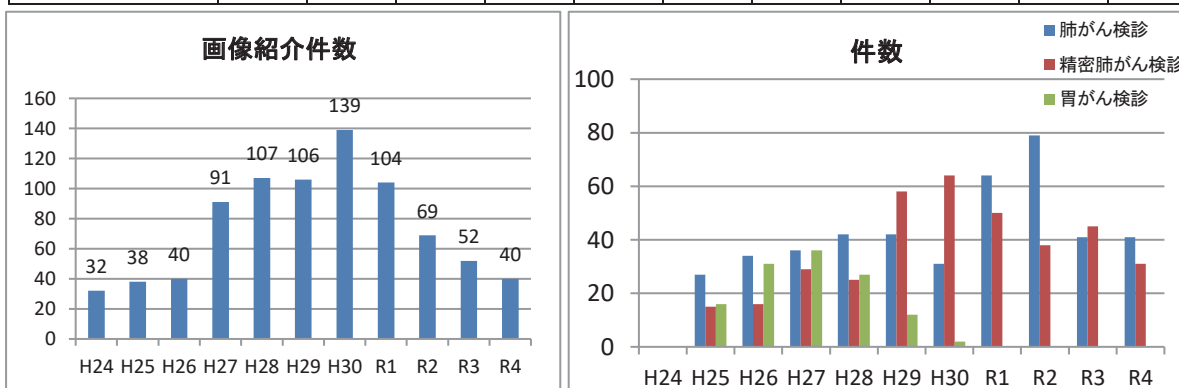
1) モダリティー別検査患者数

年度 検査別数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般撮影	1,469	1,559	1,660	1,692	1,593	1,602	1,524	1,418	1,212	1,069	1,309
TV	56	81	101	90	92	98	71	47	46	20	32
CT件数	984	1,339	1,274	1,570	1,371	1,442	1,531	1,555	1,564	1,481	1,757
CT人数	882	1,158	1,111	1,361	1,156	1,217	1,283	1,329	1,272	1,192	1,350
骨塩定量	143	165	128	136	118	103	159	137	166	115	165
合計	2,550	2,963	3,000	3,279	2,959	3,020	3,037	2,931	2,696	2,396	2,856



2) 画像紹介件数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
画像紹介件数	32	38	40	91	107	106	139	104	69	52	40



3) 岡山市健康診断検査数

年度 検査別数	H24 (開院)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
肺がん検診		27	34	36	42	42	31	64	79	41	41
精密肺がん検診		15	16	29	25	58	64	50	38	45	31
胃がん検診		16	31	36	27	12	2				
計		58	81	101	94	112	97	114	117	86	72

4. リハビリテーション科

報告者名: 竹原 典子

部門の構成人数: リハ科医師 1 名、理学療法士 3 名(うち非常勤1名)、作業療法士 1 名、
言語聴覚士 1 名

<令和 4 年度を振り返って>

- ・地域包括ケア病棟維持のため必要単位数(対象患者に 1 日平均 2 単位以上提供)の維持に努めた。
- ・出来高算定向上の為、外来リハビリを積極的に実施した。
- ・出来高算定向上の為、摂食機能療法を病棟と連携し、積極的に実施した。
- ・家屋調査は感染対策を十分に行い、可能な範囲で実施した。
- ・近隣施設や地域との交流については、新型コロナウイルスの影響により中止している。

<業務報告>

1) 理学療法・作業療法実績

(入院)

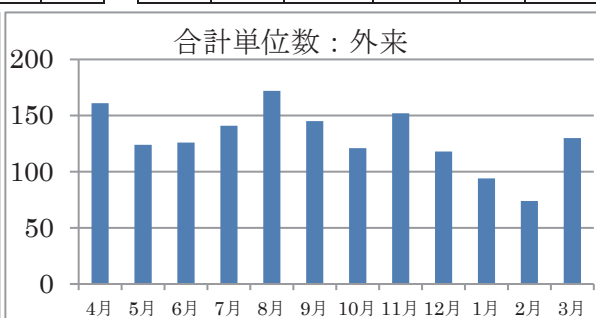
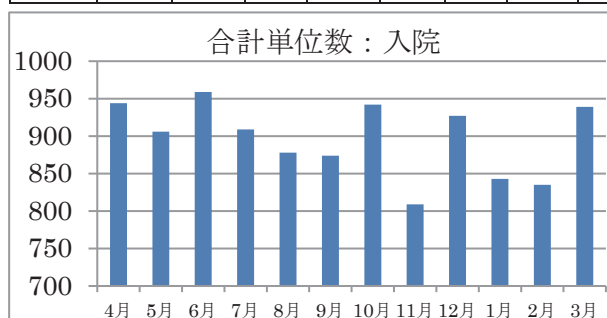
	理学療法				作業療法				合計
	運動器	脳血管	廃用	呼吸	運動器	脳血管	廃用	呼吸	
4 月	301	195	151	19	301	121	56	2	1146
5 月	351	67	127	41	103	47	68	13	817
6 月	658	33	122	82	112	16	36	22	1081
7 月	803	29	121	63	145	16	38	4	1219
8 月	403	0	343	110	95	0	110	5	1066
9 月	521	23	336	24	80	28	72	1	1085
10 月	453	16	229	49	56	50	170	10	1033
11 月	410	56	182	123	59	21	66	21	938
12 月	391	161	96	73	104	61	49	12	947
1 月	467	130	84	16	80	54	33	12	876
2 月	446	76	181	0	64	31	52	0	850
3 月	365	102	234	100	88	24	52	10	975
合計	5569	888	2206	700	1287	469	802	112	12033

(外来)

	理学療法				作業療法				合計
	運動器	脳血管	廃用	呼吸	運動器	脳血管	廃用	呼吸	
	71	0	0	0	75	0	0		146
	69	5	0	0	56	6	0		136
	83	12	0	0	113	6	0		214
	86	10	0	0	94	0	0		190
	63	18	0	0	71	2	0		154
	40	4	0	0	58	0	0		102
	34	8	0	0	36	0	0		78
	46	28	0	0	16	0	0		90
	91	20	0	0	44	4	0		159
	130	20	0	0	76	0	0		226
	105	20	0	0	68	0	0		193
	67	8	0	0	86	8	0		169
	885	153	0	0	793	26	0		1857

2) 言語療法実績(入院・外来)

	脳血管リハ(単位)			呼吸リハ(単位)			廃用リハ(単位)			摂食機能療法(件)			心理・知能検査(件)		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
4月	46	15	61	6	0	6	34	0	34	1	0	1	7	3	10
5月	22	9	31	16	0	16	45	0	45	3	0	3	8	3	11
6月	7	9	16	25	0	25	19	0	19	0	0	0	15	9	24
7月	18	10	28	23	0	23	43	0	43	0	0	0	7	6	13
8月	0	9	9	20	0	20	86	0	86	0	0	0	0	2	2
9月	2	6	8	4	0	4	85	0	85	6	0	6	3	0	3
10月	10	9	19	15	0	15	57	0	57	17	0	17	1	7	8
11月	25	6	31	38	0	38	49	0	49	28	0	28	2	3	5
12月	26	4	30	22	0	22	20	0	20	8	0	8	0	5	5
1月	31	7	38	10	0	10	23	0	23	6	0	6	0	4	4
2月	34	6	40	0	0	0	46	0	46	2	0	2	2	3	5
3月	18	8	26	9	0	9	53	0	53	3	0	3	0	6	6
合計	239	98	337	188	0	188	560	0	560	74	0	74	45	51	96



3) 退院前家屋訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1

5. 栄養管理室

部門の構成人数: 1名(管理栄養士)

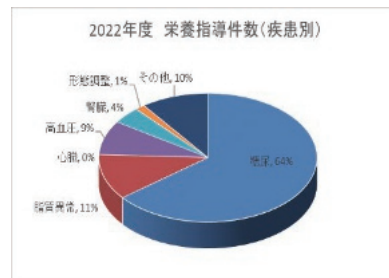
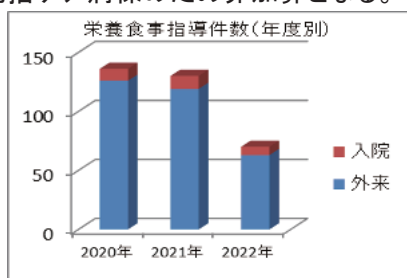
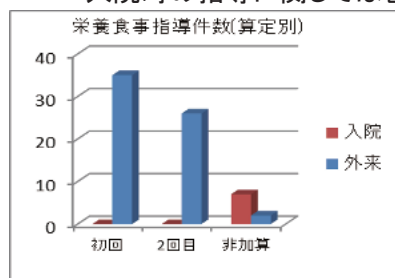
報告者名: 堀田 侑希

<活動状況>

1) 栄養食事指導

入院・外来患者に対して、医師の指示に従って適切な栄養食事指導を行っている。

入院時の指導に関しては包括ケア病棟のため非加算となる。



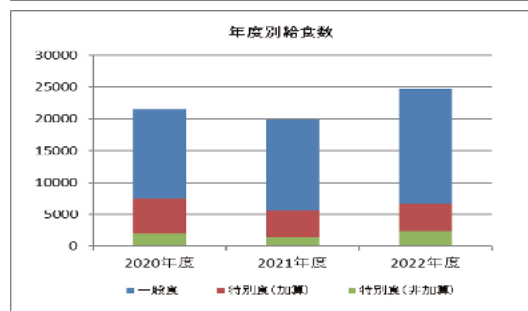
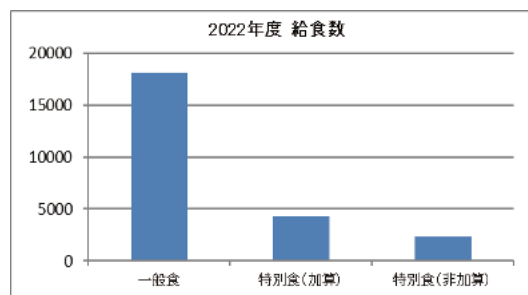
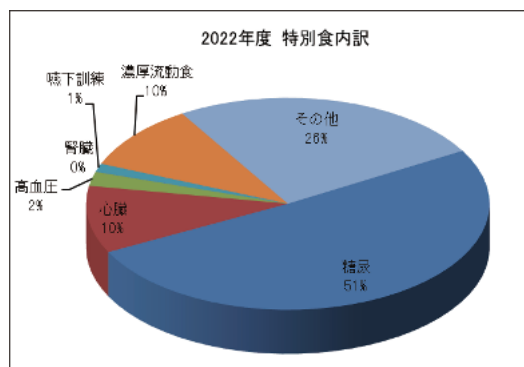
2) 給食管理

【一般食】並菜、軟菜等

【特別食(加算)】糖尿食、心臓食、腎臓食等

【特別食(非加算)】高血圧食、嚥下訓練食等

咀嚼、嚥下状態に合わせて形態調整の対応を実施。



3) 行事食の提供

入院中の食事を楽しみにしていただけるよう、季節、行事に合わせた食事を提供している。



ちらし寿司(ひなまつり)



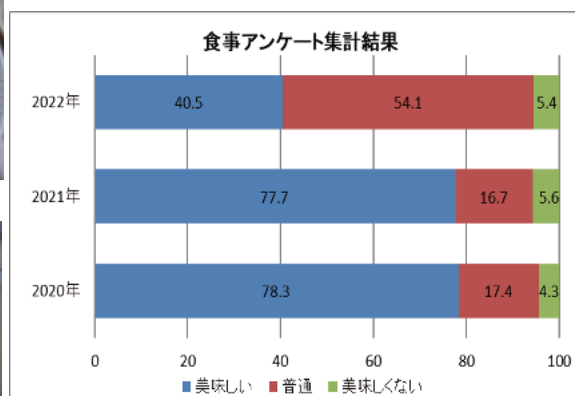
セタそうめん(七夕)



さつまいもご飯(秋分の日)



スクランブルエッグオムライス(クリスマス)



4) 嗜好調査

年2回、入院患者から食事に対する評価をいただき、献立作成に役立てるために嗜好調査を行っている。調査の結果を参考により良い病院食の提供に努めている。

5) チーム活動、ラウンド

各種チーム医療へ参加し、管理栄養士の専門性を活かし患者個々の病態に適した栄養療法の提案に努めている。ミールラウンド(毎食時)、各カンファレンス、ラウンド(毎週)を行っている。

6. MSW

部門の構成人数: 1名(MSW)

報告者: 小見山 陽子

<部門の特色>

1) 退院調整

患者様、ご家族との面談で退院後の生活で心配な点についてお話を伺い、必要に応じて目標やゴールを設定し、患者様、ご家族、地域スタッフや院内スタッフによるより良い支援ができるよう計画します。退院前カンファレンスでは、退院後に関わる地域スタッフと情報を共有し、在宅復帰が困難な患者様について施設入所の調整も行っています。患者様、ご家族が安心して退院でき

るよう、適宜、話し合いの場を設定しながら調整を進めています。

2) 家屋訪問

退院を考える時期になると、患者様、リハビリスタッフと共に家屋訪問に伺い家屋の状況を確認します。退院後の生活で困る点がないかチェックし、改善すべき点は福祉用具業者に改修を依頼したり、新たな福祉用具の手配を行います。

3) 地域連携

北地域包括支援センター御津分室と随時連絡をとり合い、支援が必要な患者様の相談、新介護保険を受けられる方の相談もしています。御津地区のケアマネージャーと『みつ地域退院支援ルール』に基づく連携強化に取り組んでおり、行き届いた支援ができるよう努めています。

御津地域全体を網羅するみつ訪問看護ステーションと密に連携をとり、訪問看護を受けられている患者様に関する問合わせや、介入が望ましい新規依頼も行っています。

MSW は医師と訪問看護師・ケアマネージャーを繋ぐ役割も担っています。

MSW業務統計

(外来)

(援助内容)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理社会的問題	10	14	9	9	16	12	14	11	9	2	7	12	125
退院支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受診受療問題	31	53	59	45	59	61	49	55	67	67	57	47	650
経済的問題	0	0	1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	6
社会復帰支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別外援助	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	41	67	69	59	75	75	63	66	79	69	64	59	782

(入院)

(援助内容)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理社会的問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院支援	77	83	89	89	109	103	98	94	98	99	70	103	1,112
受診受療問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
経済的問題	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
社会復帰支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別外援助	4	4	5	5	6	5	5	7	5	5	3	4	58
合計	81	87	94	94	115	108	103	102	103	104	73	111	1,175

7. 医局

部門の構成人数：3名（内科医師2名、外科医師1名）

● 研究業績

論文

1) 大森 信彦

御津医師会報巻頭言 令和4年11月

その他

1) 大森 信彦

- ・御津医師会理事会(毎週第3水曜日)
- ・日本医療マネジメント学会岡山県支部役員会. 令和4年10月22日
- ・国立病院機構副院長研修. 令和4年4月20日